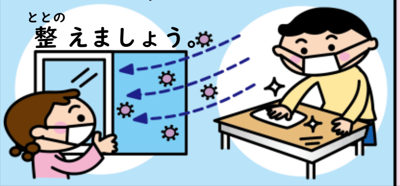
4月　給食だより

令和４年４月
南アルプス市立
南部学校給食センター

ご入学・ご進級おめでとうございます。今年度も，新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた「新しい生活様式」を踏まえ，制限の多い給食時間となりますが，皆さんが楽しみになるようなおいしい給食を提供していきたいと思っています。１年間よろしくお願いいたします。

新しい生活様式を踏まえた 給食時間の約束

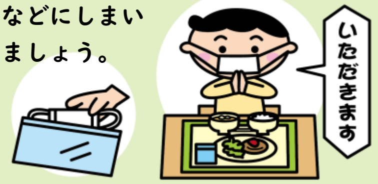
教室内の，換気，机の上の片付けなど，食事の環境を整えましょう。



給食の前後に，せっけんできれいに手を洗いましょう。

給食当番は必ず健康チェックをしきちんと身じたくを整えましょう。

マスクは，「いただきます」のあいさつの後に外し，マスク入れなどにしまいましょう。

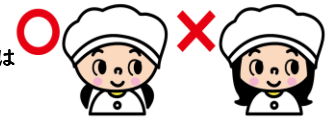


姿勢よく，前を向いて静かに食べましょう。

食べているときは，しゃべったり立ち歩いたりしないようにしましょう。

給食当番の衛生チェック

髪の毛が出ないように帽子をかぶる

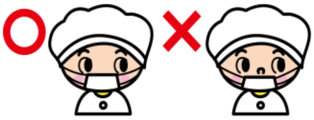


髪が長い人は結びましょう

手はせっけんできれいに洗う

爪は短く切っておきましょう

マスクで鼻と口をおおう



清潔な白衣（エプロン）を身に着ける

清潔なハンカチを用意する

おなかの調子が悪い，吐き気がするなど，体調が悪い人は，当番を交代してもらってください。

白衣を床でたたんだり，食器や食缶を床に置いたりしないようにしましょう。

学校給食について

学校給食とは

「学校給食法」に基づき，教育活動の一環として実施されるものです。成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため，栄養バランスのとれた食事を提供するとともに，望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけさせるための重要な教材としての役割も担っています。

学校給食の目標

※「学校給食法」
第2条より抜粋・要約

1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進。

2 食事について正しい理解を深め，健全な食生活を営む判断力や望ましい食習慣を養う。

3 明るい社会性と協同の精神を養う。

4 自然の恩恵への理解を深め，生命，自然を尊重する精神や環境の保全に寄与する態度を養う。

5 食生活が多くの人々の勤労に支えられていることを理解し，感謝する。

6 伝統的な食文化を理解する。

7 食料の生産，流通及び消費について，正しく理解する。

栄養管理と献立作成

「学校給食摂取基準」に基づき，栄養士が献立を作成しています。「学校給食摂取基準」では，１日に必要な栄養量の３分の１程度を目安に，カルシウムは２分の１など，家庭での食事で不足しがちな栄養素を補えるように基準値が定められています。

「主食・主菜・副菜・汁物・牛乳」の組み合わせを基本に，さまざまな食品や調理法を取り入れ，行事食，郷土料理，外国の料理など，バラエティーに富んだ献立を実施します。

衛生管理

安心・安全な給食が提供できるよう，「学校給食衛生管理基準」に基づき，衛生管理の徹底に努めています。

調理員は健康チェックをし，身だしなみを整えています。

野菜・果物は流水で３回以上洗います。

※食材に異物混入がないかもチェックします。

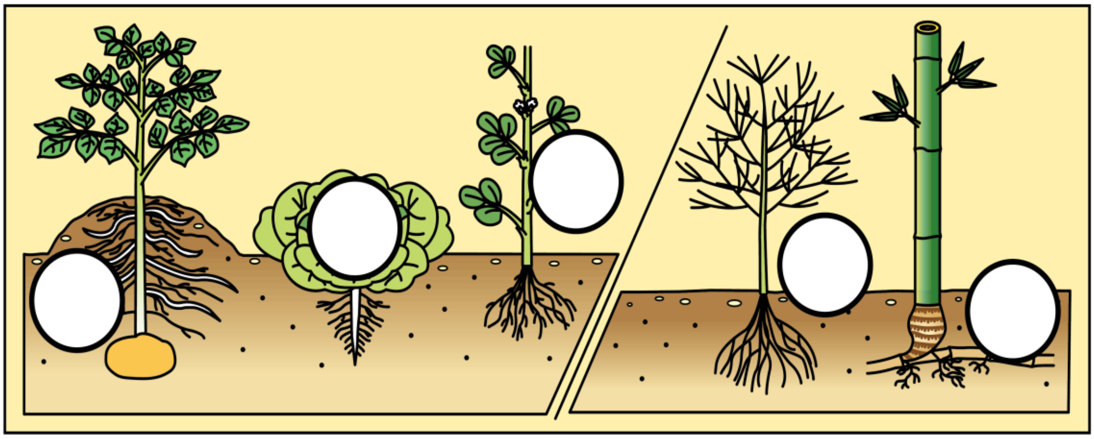
生で食べるミニトマトや果物を除き，すべて加熱します。

※加熱した食品は，中心温度を測定します。

調理後２時間以内に喫食できるよう，時間を考えて調理します。

春野菜クイズあれこれ

Q1 下の絵は、春に収穫できる野菜です。どんな所に育つでしょう？ 葉っぱをヒントに◯に番号を書きましょう。



Q2 次の野菜を英語で何と言う？ 線でつないでみよう！

Cabbage　Onion　Potato　Peas

Q3 次の文章はたけのこについての説明です。間違えている文章はどれでしょう？

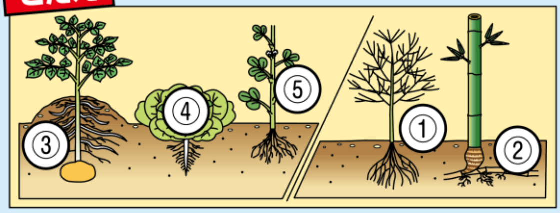
食べるのは「くき」の部分である

おなかをそうじしてくれる食物せんいが多い

1年中収穫することができる

漢字で「筍」と書く

こたえ



Q1 ＝ 左の図

Q2 ＝ ①ーOnion ②ーPeas ③ーPotato ④ーCabbage

Q3 ＝ ③

1年中収穫することはできず、多くは春の初めに出てきた竹の芽（若いくきの部分）を収穫しますが、ゆでた物を缶詰などにした加工品は1年中買うことができます。

南アルプス市立南部学校給食センターの紹介

小学校９校・中学校３校

合計　約４，０００人分の給食を作っています。

～給食センターで働いている人～

◇ 事務　４名

施設の管理や給食費の徴収を行っています。

◇ 栄養士　４名

献立作成をしたり，食に関する指導を行っています。

◇ 調理員　４０名

おいしく，安全な給食づくりを行っています。

◇ 配送員　８名

給食を各学校に安全に運び届けています。

新年度を迎え，給食センターも4月7日よりスタートします。衛生管理には十分注意し，安心安全でおいしい給食作りをしていきますので，1年間よろしくお願いします。